

設 立 趣 旨 書

21世紀を迎え、時代が大きく変化しています。日本が、そして地域が「大きな潮目の変化」を迎えようとしています。

高度成長期は終わりを告げ、政治的不安定の中、税収の減収により痒いところに手が届く行政サービスは、もはや期待できない観があります。一方で、超高齢社会による人口構成の変化や格差社会による社会不安の増大と犯罪の多発、自然災害の増加、コミュニティの消滅・無縁社会など、「社会の課題」が大きく変化し、多様化・複雑化しています。

すべての人々が自ら暮らすまちを想い、考え、納得してつくっていけるような安定した個性と魅力のある市民社会の実現こそが必要なのです。

その時代の変化に対応し、真の市民社会を推進するためには、時代を読み解き、新しい公共の担い手と期待される市民活動団体や、社会起業家が、行政・企業・市民の理解と信頼を元に協働して「社会の課題」に取り組むことが求められています。

そこで、私たちは、使命感を持った市民活動団体や社会起業家が『よし いっちょ、やってみよう！』と声をあげ、社会の課題に果敢にチャレンジできる環境をつくるのが、今こそ必要だと考えました。その実現のためには「市民活動」「社会起業」に関する総合的な支援事業として、課題検討・計画・実現・継続をサポートする「中間支援組織」が必要です。

これまで私たちは、市内の市民活動団体や社会起業を考えている方々に対して、コンサルティングや組織強化支援、自治会町内会を中心とした地域組織と連携した事業を行ってきました。

具体的には、市民活動の支援としての事業（サロンを開設し団体設立や運営に関する相談と助言、NPOマネジメント講座の開催、市民活動情報誌 LIAISON の編集・発行、団体活動のサポートとしてチラシやリーフレット等のメディア制作の助言と協力、団体間の連携を活かした資金調達の企画立案と運営サポート、平塚七夕まつりへ他団体との連携による参加、企業とのコラボレーションによる団体支援イベントの開催）、また地域活動の支援として、自治会町内会の地域活性化を図る事業「寺子屋」の企画運営とコーディネート、さらには団体と地域の人々を垣根なしでつなげるための出会いと交流の場「交流カフェ・四つ角カフェ」等を開催してきました。

この度、法人として申請するに至ったのは、「人の思いをつなぎ、その思いを実現できる、そんな支援のできる交流拠点」として、継続的に活動していくためには、社会的に認められた公的な組織にしていくことが必要と考えたからです。それには公益性、公開性が求められるNPO法人が最適であると考えました。ここにいっそうの組織として基盤強化をはかるため、また地域社会に広く貢献できる組織として、特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンターを設立いたします。

平成 24 年 11 月 19 日

法人の名称 特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター
設立代表者 横田 裕